

わが家のスマホ・ゲーム機 10か条

～ スマホ・ゲーム機使用のルール例～

- 第1条 自分の電話番号やメールアドレスをむやみに教えない。
- 第2条 夜9時以降はさわらない。(保護者に預ける)
- 第3条 勉強中、食事中はさわらない。
- 第4条 保管、充電場所は居間にする。
- 第5条 自分の部屋に持ち込まない。
- 第6条 必要のないサイトにアクセスしない。
- 第7条 おかしなメール、知らない相手からのメールは必ず保護者に見せる。
- 第8条 会員登録等の個人情報登録は、保護者に許可をとる。
- 第9条 人の悪口は絶対に書かない。
- 第10条 困ったときはすぐに親や先生に相談する。



家族で話し合しましょう! ●●家のルール

使用する目的は?

使用するわが家のルールは?

困ったときの相談窓口

いじめに関する相談

▶ 子供・いじめホットライン (上尾市教育センター)
電話 0120-556-290
メールアドレス 556soudan@city.ageo.lg.jp

▶ よい子の電話教育相談 (県立総合教育センター)
【保護者用】048-556-0874
【子供用】0120-86-3192

請求トラブルに関する相談

▶ 埼玉県消費生活支援センター
048-261-0999

インターネットを使った犯罪に関する相談

▶ けいさつ総合相談センター
048-822-9110

ネットいじめ・ネットトラブルなどの通報窓口

メールアドレス:
netpat-saitama@true.ocn.ne.jp

上記メールアドレス宛に

- ・ 該当の学校名
 - ・ 該当のサイト名または URL
 - ・ パソコンサイト及び携帯サイトの別
 - ・ 問題のある書き込み内容 (簡潔に)
 - ・ その他 (情報提供の理由など)
- 等の情報を送信してください。



上尾市・ネットトラブル防止宣言



ネット社会 子供を守る 大人の目

18歳未満の子供のスマホ利用には、「**利用時期の見極め**」と「**保護者の責任と義務**」が重要です。

行動指針

- あ** 与える前に、十分検討しましょう!
- げ** ゲーム機やスマホの使用のルールを決めましょう!
- お** 親が見守り、気軽に相談できるようにしましょう!

□ 利用時期の見極め

むやみに買い与えないことがトラブル防止策です

スマホはアプリで多様な使い方ができることから、インターネット全般を使いこなす力(ルールやマナーを守る責任感・自制心等)が必要です。子供の年齢や発達段階を見極めながら、子供向けスマホの利用やフィルタリング・機能制限等、年齢に合った適切な対応が必要です。**むやみに買い与えないことがトラブルを未然に防止できます。**



□ 保護者の責任と義務

保護者には子供を守る責任と義務があります

スマホには大きな可能性とリスクがあります。保護者としてリスクがあることをきちんと教え、適切に使うことを学ばせるのが一番です。それとともに、日頃から子供が保護者に相談できる信頼関係を構築し、問題が発生したときには保護者が前面に出て対応することが必要です。**トラブルがないよう、子供を守るために常にチェックする義務があります。**



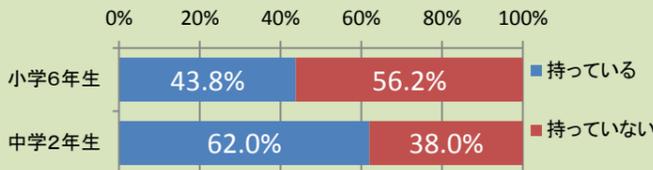
上尾市・上尾市教育委員会・上尾市PTA連合会
上尾市青少年育成連合会・上尾市生徒指導推進協議会

子供たちの実態

現代社会に生きる子供たちの多くは、幼いころから本人の意志にかかわらず、テレビやパソコン、ゲーム機、携帯電話に囲まれた生活を送っています。これらは、便利である反面、ネットトラブルで犯罪に巻き込まれたり、生活習慣の乱れから生活に悪影響を及ぼしたりしていることも事実です。子供の豊かな心と健やかな体の育成のために、子供と電子メディアとのかかわりについて一緒に考えてみましょう！

上尾市の子供は…

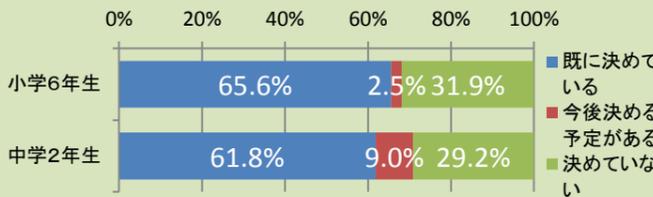
携帯電話等の所有



いつから所有したか



家庭でのルール



平日のインターネットの利用時間

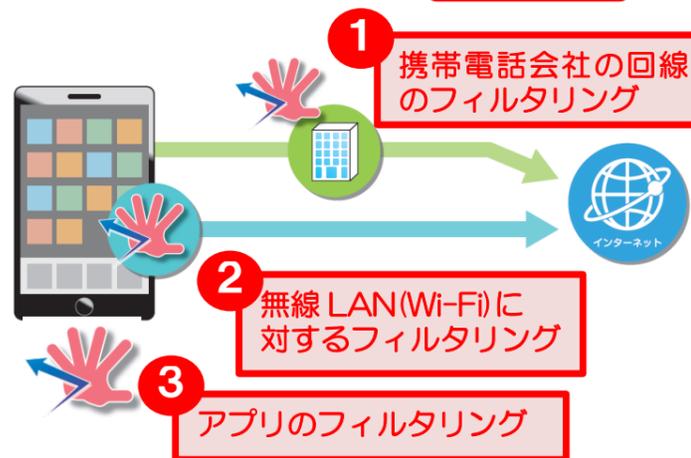


平成26年度携帯電話等に関する調査から ※ 小学校6年生、中学校2年生抽出 平成26年7月実施

フィルタリングが安心・安全の鍵

フィルタリング…インターネット上のウェブサイト等を一定の基準に基づき選別し、青少年に有害な情報を閲覧できないようにするプログラムやサービスをいいます。

スマホのフィルタリングは 3種類！



フィルタリングサービスの申込みは…各社のショップ店頭のほか、電話やインターネットを通じて申込みができます。

ご存知ですか？

ゲーム機や音楽プレーヤーなどにもフィルタリングが必要なんです！！

子供が利用するゲーム機や音楽プレーヤーなどの機器も、無線LAN(Wi-Fi)でインターネットにつながります。ゲームの対戦、アイテムの取得、音楽ダウンロードなど安全のためにはフィルタリングをかけましょう！（方法は、利用機器の取扱説明書等で確認してください。）



機器のフィルタリングも大切ですが、何よりも“**家族のフィルタリング**”が大切です。

ネットトラブルの主な事例

S N S…ソーシャルネットワーキングサービスの略で、LINEやFacebook、Twitterなどを使って、友だちや遠くにいる人と交流できる機能を持っているインターネットサービスのことをいいます。
ミニメール…Webサイト内の利用者同士がメールを送受信し合うことができる機能で、メールアドレスを知らせることなくメールを送ることができるため、気軽に使うことができます。

いじめ



SNSを利用していた小学6年生のA君。ある時、A君は、冗談で友人B君の悪口をSNSに書き込み、他の友人C君からB君に伝わりました。

A君の書き込みで激怒したB君は、Web上の日記にきつい言葉でA君への文句を書き始めました。SNS上の友人にあっていう間に広がってしまいました。

対応策

- ▶相手の気持ちを考える。
- ▶インターネットの特性を理解する。
- ▶悪質な誹謗中傷やいじめは犯罪につながることを理解する。

金銭の浪費



小学6年生のA君は、基本料金がかからないインターネットに接続可能なゲーム機で遊び始めました。有料アイテムを親のクレジットカードで何度も購入しました。

後日、2カ月間の利用料として、A君の両親に400万円という高額請求が届きました。A君は両親から厳しく叱られました。

対応策

- ▶課金サービスの利用は、保護者の許可を得る。
- ▶クレジットカード決済の危険性を理解する。
- ▶クレジットカードの子供の無断利用に注意する。

性被害



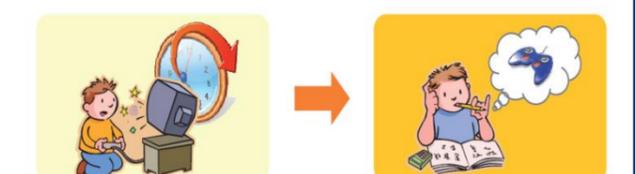
中学3年生のAさんは、ゲームサイトを利用していました。ミニメールという機能で、見知らぬ人とも簡単に連絡を取り、Aさんは仲良くなった男性と会ってしまいました。

その後、Aさんは男性に、執拗にメールで脅迫されました。仕方なく、再び会いに行ったAさんは、男性から性的被害を受けてしまいました。

対応策

- ▶知らない人からのミニメールには返信しない。
- ▶私的な画像・動画は送信しない、撮影させない。
- ▶トラブルがあったらすぐに相談する。

日常生活の乱れ



オンラインゲームにはまっている小学5年生のA君。夜中でもゲームをしていました。ゲームに参加しないと、仲間はずれにされるのではないかと心配で、やめられなくなりました。

A君は、睡眠不足が続いた影響で、学校の授業に集中できなくなっていました。それにともなって成績も下がっていますが、それでもオンラインゲームが止められないといいます。

対応策

- ▶ゲームやパソコンを長時間利用しない。
- ▶家庭でのルールを友人にも伝え、友人に「いやだ」「やめて」と言えるようにする。

子供がネットトラブルの**被害者・加害者にならないために**、大人が子供を注意深く見守りましょう。